

《史料保存機関を訪ねて》

## ⑦ 北淡震災記念公園野島断層保存館

北淡震災記念公園野島断層保存館は、平成七年（一九九五年）一月十七日に発生した兵庫県南部地震で出現した野島断層を保存・展示し、地震の恐ろしさや震災の記憶を風化させずその教訓を末永く後世に伝える施設として、平成十年（一九九八）四月に開館しました。

野島断層は、北淡町（現淡路市）の北端から約一〇キロメートルの範囲で現れた地震断層です。断層に沿って最大で水平方向に約二メートル、上下方向に約一・二メートルずれが生じました。このうち淡路市小倉地区の約一八五メートル部分については、平成十年七月三十一日、国の天然記念物に指定されています。

この断層を一四〇メートルにわたってすっぽりと覆った施設が野島断層保存館です。この一帯は、野島断層保存館のほかに、メモリアルハウス、震災体験館、セミナーハウスなどの施設が並び、北淡震災記念公園フェニックスパークとして整備されています。

野島断層保存館のエントランスホールには国道43号が倒壊した様子の再現模型、震災当時の写真パネル、活断層の地図があります。

断層保存ゾーンでは並走する主断層と副断層、食い違った畦・排水路・社の生け垣、破壊された道路の舗装な

どが明瞭に観察できます。これに加え、横ずれ断層に伴って形成された雁行亀裂や凹地など、保存されることがまれな断層地形が観察できます。

さらに南端には、断層をまたいで地下に掘り込んだトレンチ溝が設けられ、両側面だけでなく、底面でも断層の平面形を観察できるよう工夫されており、断層の動きを三次元的にとらえることができるようになっていきます。また、実際に断層に触れるコーナーもあります。

館の南側にはメモリアルハウスがあります。活断層の真横でもほとんど壊れなかった家を「地震に強い家」として公開しているもので、家の塀や花壇の煉瓦がずれた様子、地震直後の物が散乱した台所の様子などが再現されています。また、毎週火曜日には『震災の語りべ』から体験談を聞くこともできます。

団体向けにはセミナーハウスもあり、『震災の語りべ』の講話やビデオ上映など震災学習に利用できるほか、地震・震災についての資料閲覧や、風力発電の発電状況も見学できます。

震災体験館の体験コーナーでは、地震当時の神戸の地震計の記録を元に再現した「震度7」の揺れを体験できます。また、映像シアターでは震災の記録映像が生々しく映し出されます。

活断層ラボは、地震の仕組みや日本・世界の活断層、揺れやすい液状化の実験など、触って学べる施設です。

